

様式第7号（第21条関係）

番号 FW00001282

令和7年6月27日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都中央区銀座4-13-19銀林ビル4F
団 体 名 認定NPO法人キープ・スマイリング
代表者職・氏名 理事長 光原ゆき
電 話 番 号 03-6822-5371

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人キープ・スマイリング
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

佐賀大学医学部附属病院小児病棟に入院する子どもに付き添って看病をする家族へのお弁当の提供や、佐賀県内の病院で入院する子どもに付き添う家族へ付き添い生活に必要な食品や物資を届けることにより、佐賀県内の家族が健康を損なうことなく安心して付き添える環境を目指します。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

①付き添い生活応援パック無償配布事業

緊急コロナ禍支援策として2020年10月より開始した「付き添い生活応援パック無償配布事業」は、2024年度も順調に配布数を伸ばし、全国の3100家族以上に応援パックを届けることができました。応援パックを受け取った人の満足度評価の平均は5段階評価の4.67でした。

佐賀県内の病院への実績

佐賀大学医学部附属病院 1件

佐賀整肢学園こども発達医療センター 4件

②食支援事業(お弁当deスマイリングin佐賀大学病院)を核とした地域づくり

私たちは、昨年度から引き続き、佐賀大学医学部附属病院へ、市内の結婚式場のシェフが調製したお弁当や市内の飲食店が調整したお弁当を4月～毎月20～25名 合計275名に、当団体の佐賀県在住スタッフが届けるとい地域を巻き込んだ活動を行いました。

高度な医療を提供する同センターは、佐賀県全域から重症の子どもたちを受け入れる小児医療の中核施設です。中には、自宅が遠方のため通院が難しく、小児病棟に泊まり込みながら長期にわたり看病を続けるご家族も少なくありません。

新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いた今も、小児病棟では外出や面会などに制限があり、子どもと付き添うご家族は、日常とはかけ離れた環境で心身ともに大きな負担を抱えています。

そのような中で、付き添うご家族に定期的にお弁当を届ける取り組みは、栄養補給だけでなく、「ひとりじゃない」と感じられる安心や、ほっと心がほぐれる時間を届けるものとなっています。実際に、「豪華で心温まるお弁当に感動した」「ずっと緊張していた気持ちが和らいだ」といった声が多く寄せられています(下記「受益者の声」参照)。

・まだ、診断が見つからない状況なので毎日不安な日々が続いています。そんな中こんな取り組みを知り、一人ではないことを実感しました。ありがとうございました。

・お弁当が豪華でとても美味しくいただきました。付き添い中の食事は、簡単に食べられるカップスープやおにぎりがほとんどだったので、お弁当の蓋を開けた瞬間、思わず「うわ〜っ」と声がでてしまいました!お肉とお野菜が沢山でとても美味しかったです!ありがとうございました。

・入院してから食事がまともに食べられず、しかも高いので節約のために一日1食や2食にして満足できてなかったので、久しぶりに満足できました!美味しくいただき感謝です!

③付き添い生活応援パックライト無償配布事業

子どもの入院は、ある日突然やってきます。緊急入院となれば、家に帰ることも荷物を取りに戻ることもできず、親は自分の支度もままならないまま、夜を迎えることとなります。

そんな不安な“最初の一晚”を支えたい――。

必要なものをひと袋に詰めた緊急入院支援「付き添い生活応援パックライト」を、佐賀大学医学部附属病院へ100個送付し、付き添い家族の一番身近にいる医療者の皆様からご家族へ配布いただきました。

④見守り支援

2024年5～6月に実施した「#みんなで小児病棟を支えよう」クラウドファンディング支援先の20病院のひとつ、佐賀大学医学部附属病院様に、「一般社団法人 星つむぎの村」の出張プラネタリウムをお届けしました。

入院しているお子さんや付き添うご家族、そして医療スタッフの皆さんへ何度も投影していただきました。涙を流すお母様もいらっしやり、星空を通して「だいじょうぶだよ」という思いが伝わっていく様子に胸がいっぱいになりました。

②佐賀から広がった社会像(該当する活動のみ)

5 寄附金活用事業実績 : (別記1)

6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)

7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
「付き添い生活応援パック」無償配布事業	①病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援 ②10日間以上お子さんの入院に付き添っている家族 ③付き添い生活に必要な物資（食品、衛生用品、生活用品等）を届ける	①令和6年4月～令和7年3月 ②東京オフィスから全国の病院へ	10,395,205	2,038,861
食支援事業（お弁当deスマイリングin佐賀大学病院）を核とした地域づくり	①病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援 ②佐賀大学医学部附属病院 小児病棟に付き添う家族 ③栄養たっぷりのお弁当を届ける	①令和6年4月～令和7年3月 全12回 ②佐賀大学医学部附属病院 小児病棟	391,346	91,346
計			10,786,551	2,130,207

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位: 円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位: 円]
「面会支援」事業	①病気の子どもとの面会へ通う家族への支援 ②10日間以上病院に入院するお子さまに面会する家族 ③面会に通うために必要な食品・生活用品、または、交通費支援	①令和7年10月～令和8年3月 ②東京オフィスから全国の病院へ	6,414,000	6,414,000
「面会支援」事業	①病気の子どもとの面会へ通う家族への支援 ②10日間以上病院に入院するお子さまに面会する家族 ③面会に通うために必要な食品・生活用品、または、交通費支援	①令和8年4月～令和9年3月 ②東京オフィスから全国の病院へ	12,000,000	3,879,299
「付き添い生活応援バック」無償配布事業	①病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援 ②10日間以上お子さんの入院に付き添っている家族 ③付き添い生活に必要な物資(食品、衛生用品、生活用品等)を届ける	①令和7年4月～令和8年3月 ②東京オフィスから全国の病院へ	16,136,000	2,976,000
「付き添い生活応援バック」無償配布事業	①病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援 ②10日間以上お子さんの入院に付き添っている家族 ③付き添い生活に必要な物資(食品、衛生用品、生活用品等)を届ける	①令和8年4月～令和9年3月 ②東京オフィスから全国の病院へ	15,539,200	4,718,086
計			50,089,200	17,987,385

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		20,529,230
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	5,798,856
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	5,628,700
	前年度控除額(県事務経費)還付分	170,156
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	14,730,374

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		2,541,845
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	2,130,207
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	411,638
	返礼品等の調達に係る費用	308,672
	返礼品等の送付に係る費用	79,508
	広報に係る費用	10,390
	事務に係る費用	13,068

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	17,987,385
-------------------------------------	-------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)
